

平成21年度第12回  
公立大学法人公立はこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 平成22年2月12日（金）15：00～17：10
- 2 場 所 公立はこだて未来大学4階特別応接室
- 3 出席者  
委 員：中島学長（議長），小西副学長（理事），岩田副理事長，西濱事務局長（理事），三木研究科長，上野複雑系科学科長，高橋情報アーキテクチャ学科長，三上共同研究センター長，美馬メタ学習センター長，川嶋評価委員長，岡本学生委員長  
事務局：村重複雑系科学コース長，山本情報デザインコース長，鶴喰企画総務課長，和久井財務・研究支援課長，松塚教務課長
- 4 議 事
  - (1) 審議事項
    - ① 教員の退職について
      - ・事務局（企画総務課長）から，教員1名の退職について説明があり，了承された。
    - ② 特任教員の選考について
      - ・議長から，特任教員1名の選考について説明があり，平成22年4月から2年間を任期として採用することが了承された。
    - ③ 客員教授の選考について
      - ・三上共同研究センター長から，客員教授1名の選考について説明があり，平成22年4月から1年間委嘱することが了承された。
    - ④ 教員の懲戒に係る審査について
      - ・西濱事務局長（理事）から，理事長から付議された教員1名に係る懲戒事案について説明があり，教育研究審議会として審査を開始した。今後，当該教員に弁明の機会を与えたうえで，3月12日開催予定の教育研究審議会で最終の懲戒処分案を決定することとした。
    - ⑤ 公立はこだて未来大学リポジトリの試験運用について
      - ・リポジトリWG・加藤准教授から，本学におけるリポジトリの趣旨や運用方法および本年3月末からの試験運用について説明があり，博士論文，修士論文および卒業論文は原則としてリポジトリに登録しない取扱いに変更し，その他は原案どおりに実施することで了承された。また，平成22年度以降は，リポジトリを従来の総合業績調書の研究業績部分に代えて用いることが確認された。
    - ⑥ 「スマートシティ函館」に関するIBMとの共同研究協定について
      - ・議長から，IBM，函館バス株式会社および市内各病院との産学連携事業「スマートシティ函館」の推進に当たり，本学とIBMとの間に共同研究

協定を締結する旨の説明があり、原案どおりに了承された。

- ⑦ 道内 4 工業高等専門学校との学術交流協定について
  - ・事務局（教務課長）から、本学と道内の 4 高専との間に学術交流協定を締結する旨の説明があり、原案どおりに了承された。
- ⑧ 公立はこだて未来大学学則の一部改正について
  - ・事務局（企画総務課長および教務課長）から、教授会の構成員の変更および進級条件の変更等を趣旨とし学則の一部を改正する旨の説明があり、原案どおりに了承された。
- ⑨ 公立はこだて未来大学大学院学則の一部改正について
  - ・事務局（教務課長）から、特別研究学生の受入等を趣旨とし大学院学則の一部を改正する旨の説明があり、原案どおりに了承された。
- ⑩ 公立はこだて未来大学教授会規程の一部改正について
  - ・事務局（企画総務課長）から、教授会の議長の変更等を趣旨とし規程の一部を改正する旨の説明があり、原案どおりに了承された。
- ⑪ 公立はこだて未来大学履修規程の一部改正について
  - ・事務局（教務課長）から、進級条件の変更等を趣旨とし規程の一部を改正する旨の説明があり、原案どおりに了承された。
- ⑫ 公立はこだて未来大学大学院履修規程の一部改正について
  - ・事務局（教務課長）から、授業科目の概要（別表）の追加等を趣旨とし規程の一部を改正する旨の説明があり、原案どおりに了承された。
- ⑬ 公立はこだて未来大学特別研究学生規程の制定について
  - ・事務局（教務課長）から、交流協定の締結を前提とし、他大学大学院の大学院生を特別研究学生として受け入れる体制を整備することを趣旨とし新たに規程を制定する旨の説明があり、原案どおりに了承された。

## (2) 報告事項

- ① 部局長および各委員会委員長について
  - ・議長から、平成 22 年度からの部局長および各委員会委員長等の構成について報告があった。
- ② 平成 22 年度予算について
  - ・事務局（財務・研究支援課長）から、平成 22 年度の予算の概要について説明があった。

## (3) その他

- ① 大学の理念および学びと研究の領域図について
  - ・柳広報委員長から、本学の理念および専門とする学習領域や研究領域を対外的に説明しやすくすることを目的に領域図の原案を作成した旨の説明があり、今後さらに検討を重ねることとした。
- ② 戦略研究費による研究の成果報告について
  - ・三上共同研究センター長から、今年度の戦略研究費を分配した研究について、

共同研究センターでパネル展示を行う旨の報告があった。

③ 社会連携ポリシーについて

- ・三上共同研究センター長から、社会連携ポリシーの策定のため3月の教授会において広く教員の意見を求める予定である旨の報告があった。

④ 函館マリンサイエンスパークの建設に係るアンケートについて

- ・三上共同研究センター長から、函館マリンサイエンスパークの建設に当たり、施設に必要となる設備等についての照会があった旨の説明があり、特定の教員に対しもしくは教授会等の場で広く利用について意向を聴取する予定であるとのことであった。